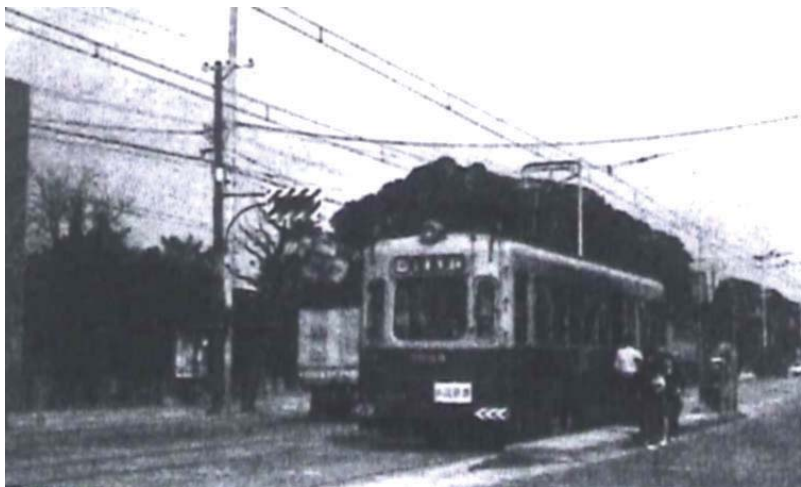




■ 現存する停留所の標識  
(写真:上田勢至郎)

今のバス道を市電が走り、城北公園前停留所があった。今その停留所の標識は、守口市の個人宅に現存。(上田勢至郎 発見)



■「城北公園」市電停留所(昭和44年)  
(写真:「目で見える大阪市の100年 上巻」郷土出版社)



■ 昭和45年の城北公園大池(写真:「旭区ホームページ」より)

この頃まで『池』には、両手漕ぎオールの貸しボートが浮かび、隣地の大阪工大の学生や子供連れの家族によく利用されていました。



■ 現在の城北公園大池

『池』は、大きく美しい噴水が、水質浄化と共に来園者を優しく、また力づけてもいる。

今、池には、可愛いかいつむり・しらさぎ・渡り鳥の飛来があり、そして素早いカワセミのユーモラスな魚取りもよく見られ、写真家の好スポットにもなり楽しまれています。



(写真:大阪市)

昭和49(1974)年 『花木公園整備計画』により、**花菖蒲園**は、1.3ha、**13,000株**となります。

(今各区、花の名所27と下水処理場の花12ヶ所あり)

(勝負の)武士や庶民に愛された**菖蒲**は、多くの改良品種があります。

**江戸系、伊勢系、肥後系**の品種は250種もある。

千代の春・猿踊り・白雪・浪花津・業平・富士・ヤタカラス……と

名称の豊かさ、大輪の見事さに市民の**人気は高い**。

入場料は200円です(市内のシニアと学生は無料)。

昭和56(1981)年 国際障害者年を記念して、障害者用設備もされました。

(国の大公園整備第三次五ヵ年計画と共に市の五ヵ年計画も始まり、  
緑地は一人当たり約3平米へ)

## 公園内にスーパー橋が!

平成元(1989)年 菅原城北新橋がアーチ状に公園を東西にまたぎ架橋。

公園の真ん中<sup>①</sup>にありながら、アーチをいくつも重ね、  
まるやかな景観がマン丸の大理石のオブジェと共に  
公園内に**やさしくマッチ**しています。



■ 菅原城北大橋全景



■ オブジェ



■ 菅原城北大橋のアーチ

平成2(1990)年 淀川堤防の**スーパー堤防事業**が実施され、公園より堤防上へなだらかな  
**芝生スロープ**ができ、河川公園と一体化した。



■ 芝生スロープ(公園側)



■ 芝生スロープ(川側)

堤防上には、平和地藏堂と  
★『千人塚』があり、慰霊祭  
の6月7日以外にも手を合  
わせる人が見られます。終戦  
二ヶ月前の空襲の大惨事が  
悔しい!です

堤を東南に降りると、中世鎌倉時代の遺跡★『赤川廃寺』の石碑や、堤防直ぐ下に、平安時代より続く★**日吉(ひよし)神社**があります。七月に行われるゆかしい**だんじり祭り**で今も近隣の氏子を守る。